工学部の化学は
生活を豊かにするための
化学です。

新潟大学工学部
化学システム工学
プログラム

Chemical System Engineering Program
Faculty of Engineering
Niigata University

化学システム工学プログラムWebサイトへ

教 育 目 標

社会人として、化学技術者・研究者として、社会の中で適切に行動できること。
化学技術者・研究者としての専門的基盤を持ち、継続的に学習できること。
他社とのコミュニケーションをとりながら、専門的問題を解決できる能力を持つこと。

https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~chem/nyuugaku/nyuugaku.htm

化学システム工学プログラムでは、応用化学コースと化学工学コースの２コースがあります。

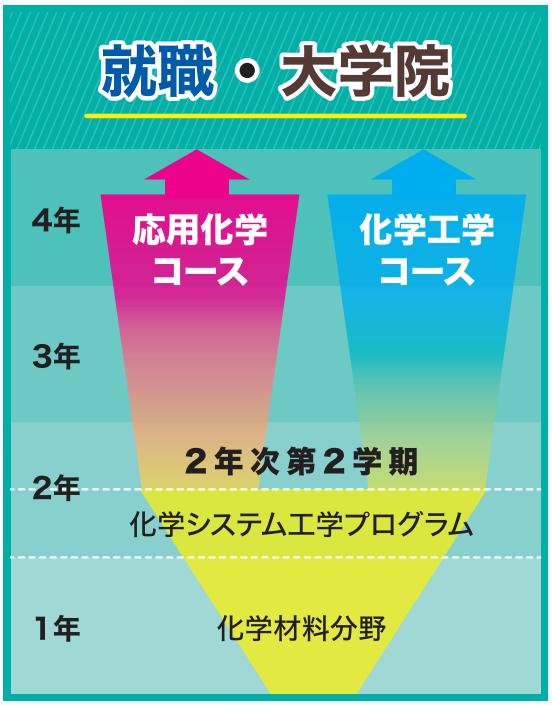
▶ 応用化学コース

新物質・新素材の設計・合成ならびに分析のための能力を養います。

▶ 化学工学コース

材料の開発から生産、環境保全に関する要素技術、単位操作ならびにシステム開発の能力を養います。

両コースとも専門知識の活用能力を高めるために、専門科目に密接した実践科目を充実させています。



1年次に「化学材料分野」において、分野と工学全般の基礎を幅広く学びます。2年次から各プログラムに分かれて専門科目を学習し、2年次第1学期までは、主に科学研究者・化学技術者としての基礎を修得します。2年次第2学期から応用化学コースと化学工学コースに分かれ、高度な専門知識や技能を身につけて専門的課題を解決するための能力を養います。

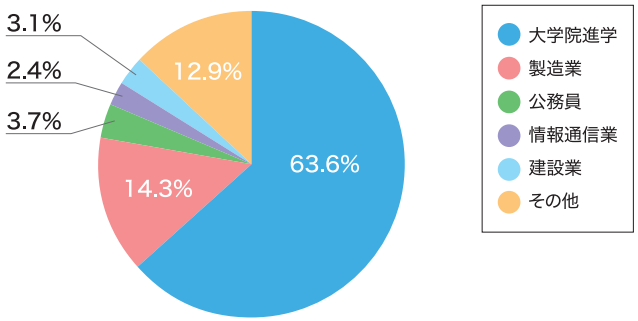
大学院との一貫した教育

化学・化学技術の急速な進歩に伴い、大学院での研究教育がますます重要になってきています。化学システム工学プログラムでは、第一線で活躍する優れた教員と充実した設備のもと、質の高い教育研究を受けることが出来ます。ほとんどの大学院生は修士課程修了後、企業や公共機関の技術職、研究・開発職に就職しますが、さらに博士課程に進学し大学や国立研究所といった研究機関の研究者を目指す人も増えつつあります。

就職情報

化学システム工学プログラムの卒業生は、化学・製薬・素材・環境関連はもとより物質を扱う全ての製造分野で活躍しています。また、情報通信分野やサービス業へ就職する人や公務員になる人も多くいます。約6割の卒業生が大学院に進学して高度な専門知識を必要とする職業に就職しています。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	平均
卒業生	85	64	80	65	294	100.0%
大学院進学	60	39	54	34	187	63.6%
製造業	12	11	11	8	42	14.3%
公務員	4	1	1	5	11	3.7%
情報通信業	2	1	2	2	7	2.4%
建設業	1	1	3	4	9	3.1%
その他	6	11	9	12	38	12.9%



取得可能な免許・資格

- 教員免許　高等学校教諭１種免許状（工業）
- 資　　格　技術士補（JABEE認定）
  甲種危険物取扱者（受験資格）など

主な就職先（大学院修了を含む）：
旭カーボン（株）、花王（株）、（株）クラレ、（株）コロナ、十全化学（株）、信越化学工業（株）、住友化学（株）、第一三共ケミカルファーマ（株）、（株）ダイセル、ダイニチ工業（株）、大陽日酸（株）、武田薬品工業（株）、帝人（株）、デンカ（株）、（株）東邦アーステック 、東洋紡（株）、DOWAホールディングス（株）、長岡市役所、ナミックス（株）、新潟県警、新潟県庁、新潟市役所、日揮触媒化成（株）、日清製粉、日本海エル・エヌ・ジー（株）、日本精機（株）、日本曹達（株）、日立化成（株）、北越コーポレーション（株）、北越工業（株）、北陸ガス（株）、水澤化学工業（株）、三菱ガス化学（株）、三菱ケミカル（株）、菱機工業（株） 、YKK（株）（五十音順）

https://www.eng.niigata-u.ac.jp/~chem/nyuugaku/nyuugaku.htm